

Press Release

2022年11月28日

Idein 株式会社

エッジ AI プラットフォーム Actcast を展開する Idein(株)、 第 2 回商業施設・店舗 DX 展に出展 ～商業施設や小売チェーンなどの店舗向けの AI・IoT 活用事例をご紹介～

Idein 株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村晃一）は、12月5日（月）～7日（水）に東京ビッグサイトにて開催される「第 2 回商業施設・店舗 DX 展（<https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp/visit/sdx.html>）」にエッジ AI プラットフォーム「Actcast」のブースを出展します。



Idein 株式会社は、画像や音声等の解析技術を用いて実世界のデータを収集・活用できるようにする国内シェア No.1 のエッジ AI プラットフォーム「Actcast」を展開しています。今回、第 2 回商業施設・店舗 DX 展の展示ブースでは、Actcast の AI 機能の中から AI カメラを用いた消費者把握 AI（年齢・性別・視認率などを分析）や人数カウント AI（時間毎・方向別に人数を計測）、顧客の回遊分析ができる AI（同一人物の再識別技術によって同一人物を検出）のデモを展示しております。また、取得データを可視化したダッシュボードのイメージをご覧いただくことも可能です。AI や IoT に興味がある、ビジネスに取り入れたい、また、すでにビジネスに取り入れているがもっと効果的に活用したいとお考えの事業者の方は、是非お立ち寄り下さい。

■ 商業施設・店舗 DX 展とは

ジャパンビルドー建築の先端技術展ーとは、住宅、ビル、商業・公共施設など、あらゆる建築物を対象とした建築総合展です。建材、住宅設備、ビル管理・運用システム、リノベーション技術、AI（人工知能）・IoT 関連技術、不動産テック、建設 DX などが世界中から出展し、建築業界の開発・設計・工事・管理・運用分野の専門家が商談を目的に来場します。今回は過去最多の 450 社が出展予定となっています。その中で、商業施設・小売チェーン等を対象にした商談・技術相談のための展示会が商業施設・店舗 DX 展です。店舗向け AI・IoT サービス、デジタルサイネージ、警備・配膳ロボット、業務効率化シ

STEMなどを展開するメーカーや商社が出展し、製品導入や見積の相談などがその場で可能です。

【出展概要】

名称：第2回 商業施設・店舗 DX 展（第7回 ジャパンビルドー建築の先端技術展－内）

開催時間：2022年12月5日（月）～7日（水）10：00～18：00 ※最終日のみ17:00 終了

主催：RX Japan 株式会社

イベントウェブサイト：<https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp/visit/sdx.html>

小間番号：8-46

■ Idein 株式会社の出展情報

<出展社紹介ページ>

<https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp/search/2022/directory/details.org-7df5edc6-0bed-43af-aba9-85abd669d198.html#/>

・ダッシュボード（イメージ）



場所、時間、年代、性別、同一顧客情報の5つの観点で施設内の顧客を分析します。顧客の回遊分析ができるAIは、顧客の顔画像を保持することなしに個人情報に配慮した形で特徴量のみを抽出・比較し、特徴量に近い顧客ログデータに一意のIDを付与することで、同一人物を再識別し、顧客の回遊分析が可能になります。ユースケースとして、施設の通路、店舗入り口、レジ前等に設置したAIカメラを活用し、店舗間や施設内の移動、フロア間の移動等のデータ取得が考えられます。

<エッジ AI プラットフォーム「Actcast」>



Actcast は、画像や音声等の解析技術を用いて実世界のデータを収集・活用できるようにする国内シェア No.1 のエッジ AI プラットフォームです。2020 年 1 月に正式版リリース後、わずか 2 年ほどで累計登録台数が 15,000 台を突破。その急成長の背景には実証実験にとどまらず商用利用による全国数千店舗でのリモート運用など、当社の技術力と運用実績を高く評価いただいている点があります。

また、AI カメラ導入にあたり主な懸念となるコスト面や個人情報保護についても、従来のクラウド AI カメラと異なり、エッジ AI プラットフォーム「Actcast」であればクリアすることができます。

<「Actcast」の特長>

- 高度な AI 解析をクレジットカードサイズの小さく安価なデバイスでできるため、デバイスのコストを劇的に削減できる（通常は数十万円のデバイスを使用するような AI 解析を数千円のデバイスで使用可能）
- 当社独自の高速化技術により AI モデルの軽量化をすることなく最先端の AI 解析ができる
- カメラ、マイク、温度計等を搭載したセンシングデバイス使用して、多様な実世界の情報を収集・活用できる
- リモートで複数デバイスの管理・運用ができる
- エッジ AI は必要最低限の情報だけをクラウドへ送るためプライバシー・機密情報に配慮しながら利用できる

◆Idein 株式会社 代表取締役 CEO 中村 晃一コメント

2020 年 1 月にエッジ AI プラットフォーム「Actcast」を正式リリースして以来、現在では累計登録台数 15,000 台を突破し、幅広い業界の DX プロジェクトで活用いただいております。

本展示会では、店舗や商業施設など様々な現場のデータをリアルタイムに解析でき、マーケティングや業務効率化に活用できる最新の AI 機能を体感いただけますので、ぜひご来場ください。



「国内シェア No.1」について

デロイト トーマツ ミック経済研究所『エッジ AI コンピューティング市場の実態と将来展望 2022 年度版』（<https://micr.co.jp/mr/02530/>）「エッジ AI プラットフォームのベンダシェア（台数）」の調査結果に基づく

■ Idein 株式会社について

安価な汎用デバイス上での深層学習推論の高速化を実現した、世界にも類を見ない高い技術力を有するスタートアップです。当該技術を用いたエッジ AI による現場データ収集プラットフォーム「Actcast」を開発し、実用的な AI/IoT システムを開発・導入・活用する開発者及び事業会社へのサービス提供を行っております。今後もパートナー企業と共に、AI/IoT システムの普及に貢献してまいります。「実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるようにする」をミッションに掲げ、日本国内では経済産業省 J-Startup 選定をはじめ、日本経済新聞社 NEXT ユニコーン企業にも選ばれています。英 Arm 社の AI Partner や、米 NVIDIA 社の Inception Program Partner になるなど、海外でも高く評価いただいています。



【設立日】 2015 年 4 月 7 日

【代表者】 代表取締役 中村 晃一

【所在地】 東京都千代田区神田神保町 1-4-13

【事業内容】 Actcast（エッジ AI プラットフォーム）事業、受託開発事業（次世代自動車開発での協業等）

コーポレートサイト URL: <https://www.idein.jp>